

東海支部

「遠見山 PW」 報告記

17 期 渡邊 和文

時：2022 年 11 月 10 日(木)

メンバー：L. 竹本(21)、中野(9)、森川(11)、
野村(12)、柴田夫妻(13)、川端(16)、渡邊(17)

遠見山は岐阜県の南部中央に位置する川辺町にある、岩肌が剥き出しになった標高 272m の岩山。山頂から雄大な飛騨川の流れや美濃の山々の眺望が楽しめる。最寄り駅の JR 下麻生駅停車の列車が少ないため、登山口の平和錦酒造前町営駐車場に各自車で集合(9:30)。

快晴無風の好天のもと出発。J R 高山線の線路の下の人がやっと通れる狭いトンネルをくぐるといきなりの急登。標高差 150m をあえぎながら登ると見晴らし岩に到着。眼下を大きく蛇行する飛騨川、街道、J R 高山線を走る列車などの眺めを堪能。尾根を戻って遠見山山頂に至る。ここは下麻生城の跡で秋葉神社や池がある。ここからの眺望もよくしばし休憩。



なだらかな尾根を進みみどりの展望台で休憩し、林道に向かって急坂を下る。しばらくのんびりと林道歩きをすると落差 20m の南天の滝に到着。滝から林道に戻り、地層が現れているところで中野さんの地学解説。「このあたりの岩はチャートで 5cm の厚さに 2 万年ほどかかる。」ということを知り、駐車場に戻る(12:30)。

酒店で買い物をして、近くの蕎麦店(七福庵)に移動して昼食後解散。

その後、食後のデザートをフルーツ大福で知られた養老軒で楽しみ、少し足を延ばして 400 年前の石垣が残る金山城址を散策しました。コロナ禍第 8 波の兆しの中、楽しい一日でした。

「三ヶ根山 PW」 報告記

報告者 16 期 川端 俊朗

時：2023 年 2 月 4 日(土)

メンバー：L. 竹本(21)、中野(9)、森川(11)、
野村(12)、佐野(15)、川端(16)、安井(22)、
竹本さんの奥様

寒い冬が続いた令和 5 年も、ようやく寒さが緩んだ 2 月 4 日、21 期の竹本さんの提案で、愛知県三河の名峰、三ヶ根山への PW に出かけました。

立春に当たるこの日、日差しは暖かいのですが、まさに「春は名のための風の寒さや」の通り、やや寒風が身に染みる中、午前 9 時に J R 東海道線三ヶ根駅に集合しました。

ここから車 2 台に乗り合わせて登山口に向かう予定でした。しかし、駅から 10 分程の登山口は道路工事の真っ最中で、登山者用駐車スペースは工事車両で満車。近くにも駐車場はなく、やむを得ず、三ヶ根山スカイラインを走り頂上部駐車場へ向かいました。(やや膝の痛みを抱えていた筆者には僥倖でしたが)

三ヶ根山の頂上部はただっ広く、広大な観音寺院があり、戦没者の慰霊碑が林立。その中を散策しながら南側に広がる三河湾を眺めてゆっくり山頂に向かいました。大きな電波塔がある山頂で記念撮影。



昼食後、元来た道に戻り駐車場へ。ここからは竹本・川端が車を回して、徒歩下山組が本来の登山道を降りることにした。14 時前に下山完了。

三ヶ根駅近くのスイーツ喫茶茶蔵へ。ここで、あんみつやぜんざいでおしゃべりを楽しみ、中野さんのミカン畑でとれた大量のお土産をいただき、15 時に散会しました。